

中小企業の業況は、売上面において改善傾向にある。

山口商工会議所では、管内中小企業100社を対象に景況調査を実施し、このほど平成24年4～6月期の実績と平成24年7～9月期見通しについての調査結果（回答率83%）をまとめた。本調査は3ヶ月毎に年4回行う。

業況DI値について、前年同月の今期（平成24年1～3月）の状況を集計したところ、業況判断DIはプラスで推移しており、前回は悪化していたが、今回は持ち直しの動きが見られた。

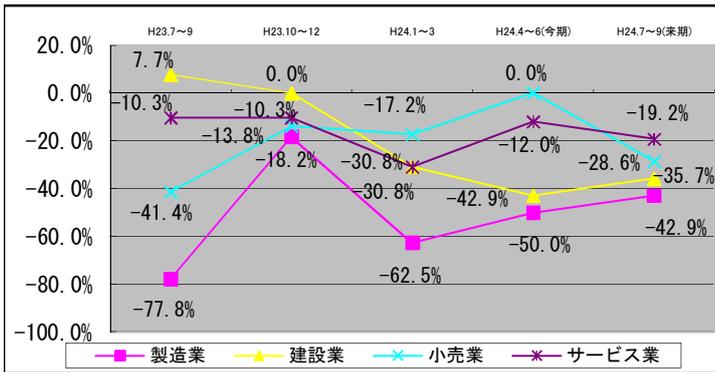
全業種のDI値に見る業況判断は、製造業：▲63%→▲50%、建設業：▲31%→▲43%、小売業：▲17%→0%、サービス業：▲31%→▲12%となった。前回、全業種で悪化した売上のDI値が、今回は建設業・小売業・サービス業で改善しており、製造業では悪化しているものの、総合すると改善傾向が見られた。

新規設備投資について、今期中に設備投資を実施した企業は全体の13.2%、来期設備投資を計画する見通しである企業は17.3%となっており、車両運搬具やOA機器への投資が目立った。また、今期の経営問題では、全業種で需要の停滞がトップに挙がっている。

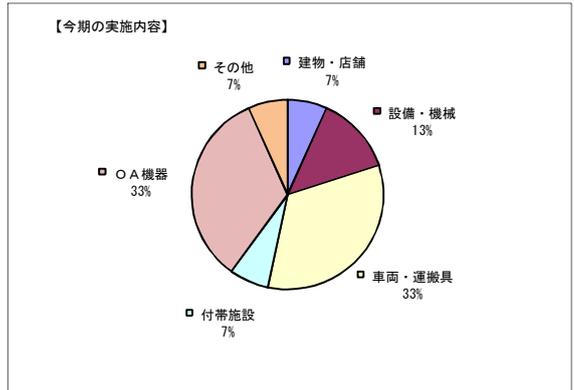
◆業況DI値（今期の状況）

	業況判断	前回調査比	売上	前回調査比	資金繰り	前回調査比	仕入単価	前回調査比	経常利益	前回調査比	従業員数	前回調査比
全産業	-18%	↗	-13%	↗	-13%	↗	20%	↗	-22%	↗	4%	↗
製造業	-50%	↗	-50%	↘	-50%	↘	50%	↗	-50%	↗	0%	→
建設業	-43%	↘	0%	↗	-21%	↗	14%	↗	-50%	↘	7%	↘
小売業	0%	↗	-3%	↗	-10%	↗	17%	→	-11%	↗	-7%	↗
サービス業	-12%	↗	-15%	↗	-4%	↗	8%	↘	-8%	↗	12%	↗

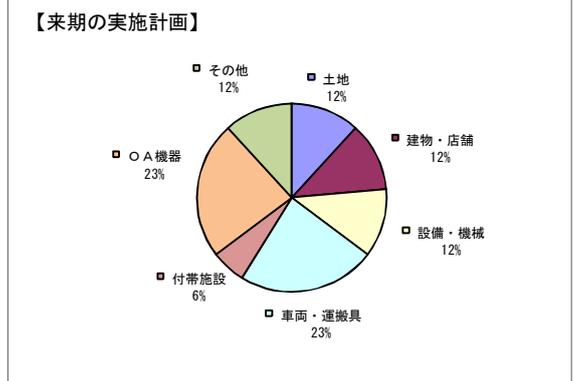
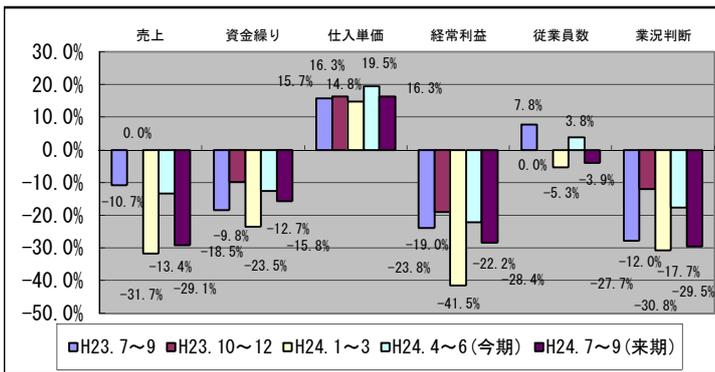
◆産業別業況判断DI（前3期からの推移と来期見通し）



◆新規設備投資（今期実施・来期計画）



◆全産業DI項目別比較（前3期からの推移と来期見通し）



◆経営上の問題点

	製造業	建設業	小売業	サービス業
1位	需要の停滞 25.0%	民間需要の停滞 26.5%	需要の停滞 22.2%	需要の停滞 15.9%
2位	原材料価格の上昇 21.4%	官公需要の停滞 17.6%	購買力の他地域への流出 18.1%	利用者ニーズの変化への対応 12.7%
3位	製品(加工)単価の低下・上昇難	請負単価の低下・上昇難 14.7%	消費者ニーズの変化への対応 13.9%	新規参入業者の増加 11.1%

※DIとは、ディフュージョン・インデックス（景気動向指数）の略で、各調査項目についての増加（好転）企業割合から減少（悪化）企業割合を差し引いた値を示す。